

## 平成30年度 砺波高等学校アメリカ研修報告書（1日目）

朝から降り続いた冷たい雨が一時止み奇跡的に晴れ間が見えた頃、多くの先生方、保護者の皆様に見送られながらいよいよ砺波高校アメリカ研修チームを乗せたバスは学校を出発しました。道中は雪がちらつく場面もありましたが、順調に進み中部空港には予定よりも30分ほど早く到着。空港はとても空いており、自分達で機械を使つてのセルフチェックイン、セキュリティチェック、出国審査等初めての体験に多くの生徒が少しどぎまぎしながらも問題無く短時間で終わることができました。

中部空港もほぼ定刻で出発し、約13時間の長い長いフライトを経て無事経由地のデトロイトに到着しました。さすがに生徒には少し疲れも見えましたが、体調不良はなく一安心です。その後またニューヨークへと飛行機を乗り継ぎ、到着したのは23時近く。ここで現地団体のGPIの皆さんとこれから1週間通う語学学校（BSL）のリチャード校長先生に迎えられ、簡単なインストラクションを受けました。GPIの吉川さんは日本人ですが、こちらでの生活が長く普段からほとんど英語しか話しませんが、疲労困憊の生徒を慮ったことと、明日の登校に向けて大事な内容だったので日本語でお話しいただきましたが、明日からは少しでも多く普段と異なるもの（英語）に触れてもらいたいとお話しいただきました。

インストラクションを受けた後は2台のバスに分乗してホームステイ先に向かいました。到着はすっかり深夜の時間帯となりましたが、いよいよホームステイ開始です。明日はスタディセンターまで通学練習となります。まずは事故なく無事に、そして積極的に自ら成長を求める研修にして欲しいと思います。以上、研修1日目の報告といたします。



中部空港でチェックイン手続き①





中部空港でチェックイン手続き②



経由地デトロイト空港のクリスマスツリー前で





ニューヨーク到着、GPI 吉川さんからのインストラクション



語学学校 BSL (Brooklyn School of Language) のリチャード校長先生



貸切バスでホームステイ先に向かいました